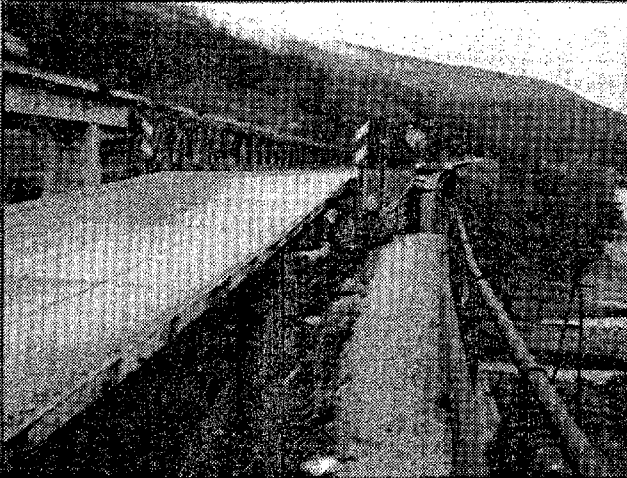
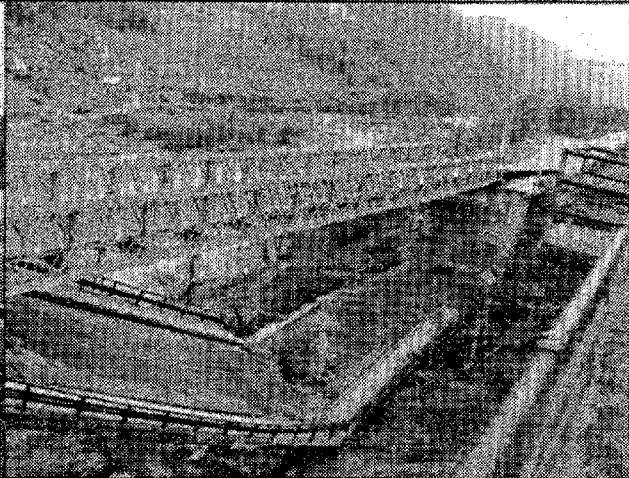
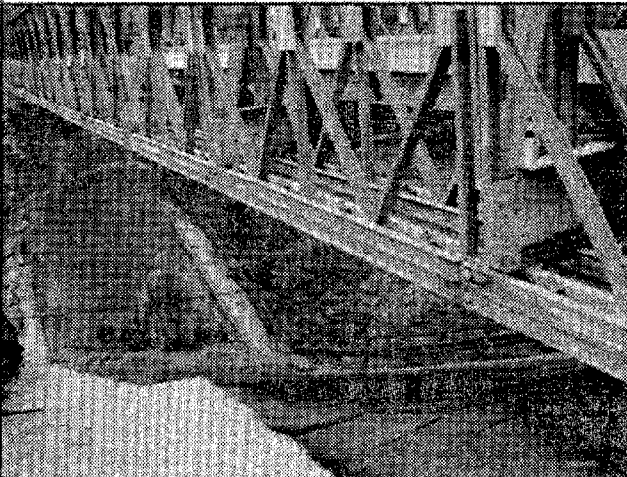
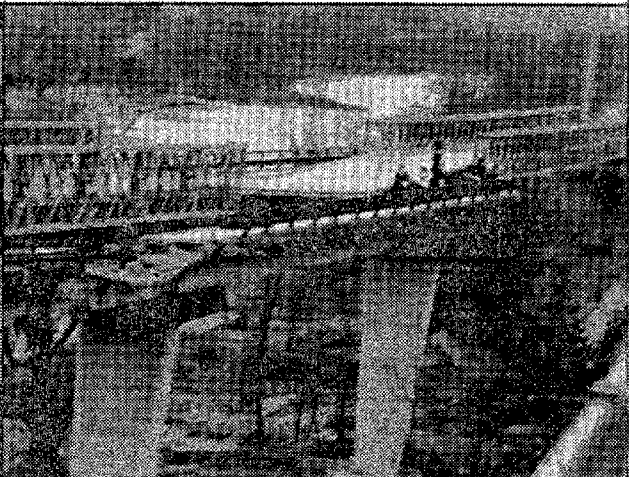
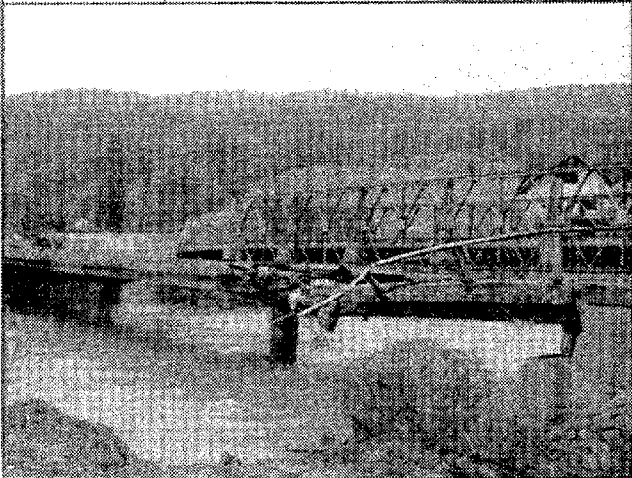
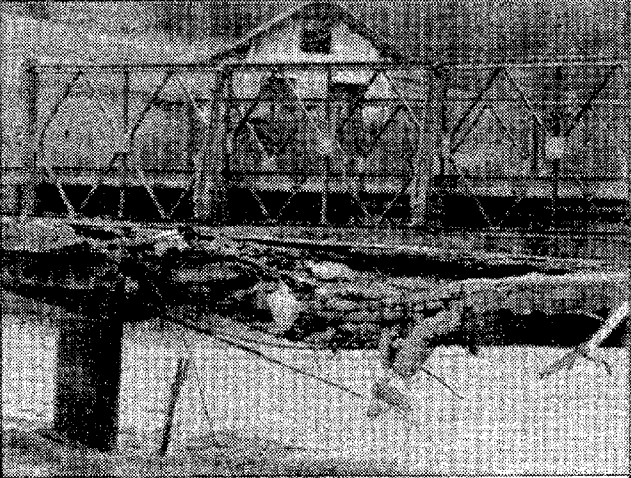
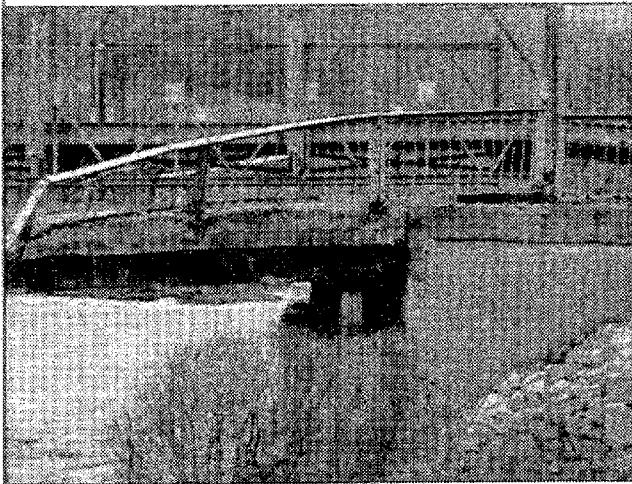
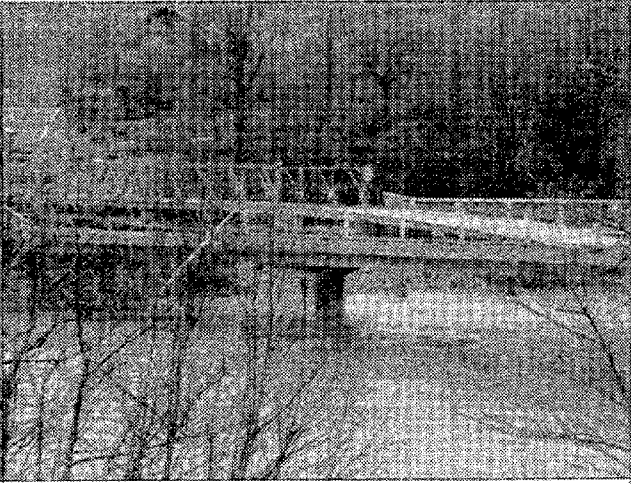
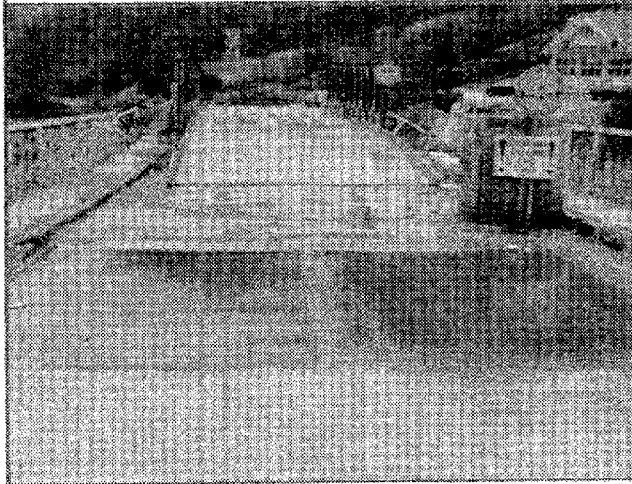
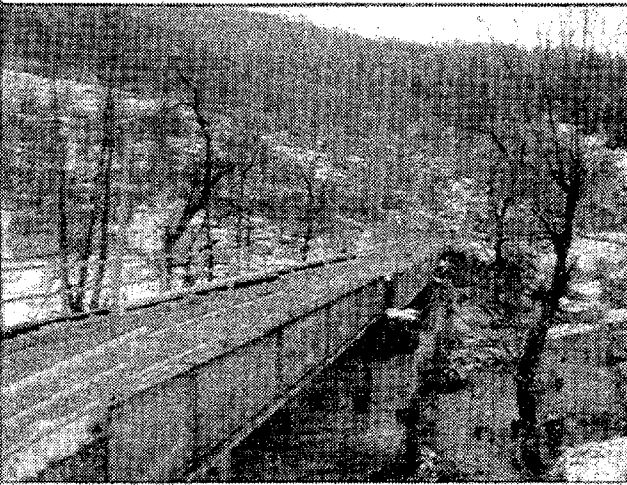
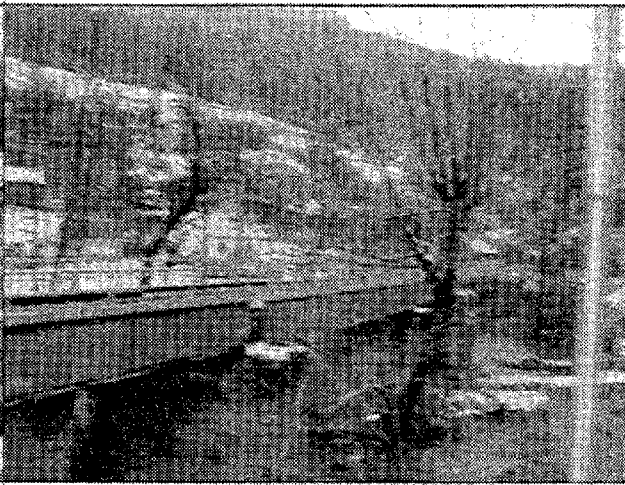
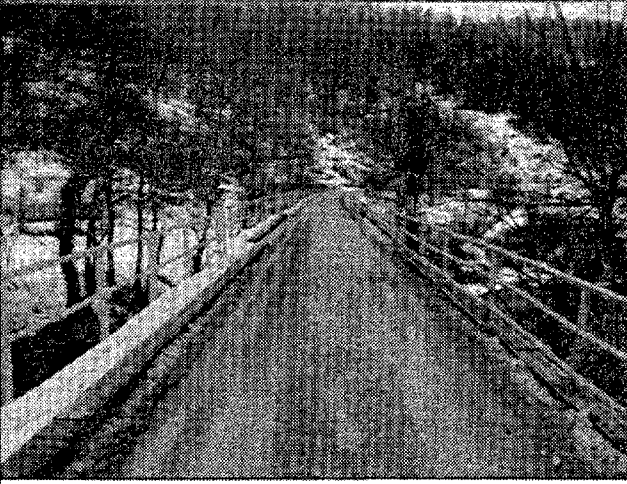
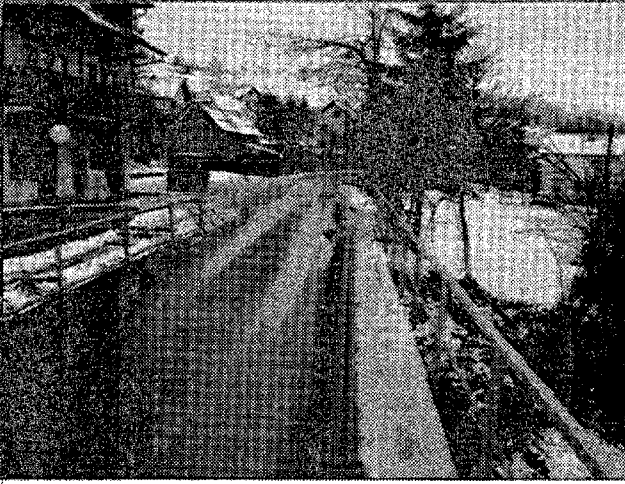
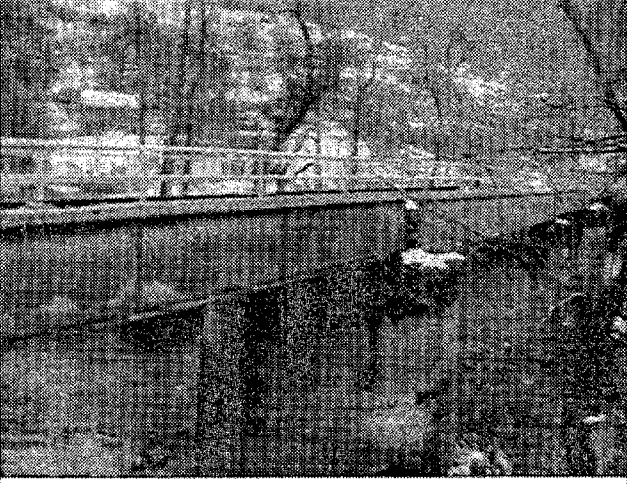
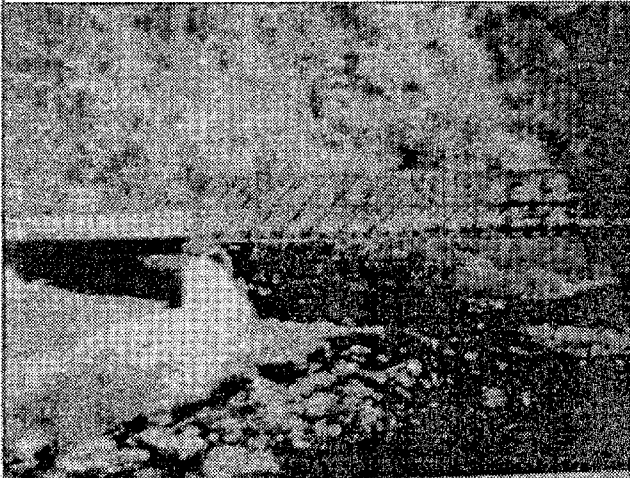
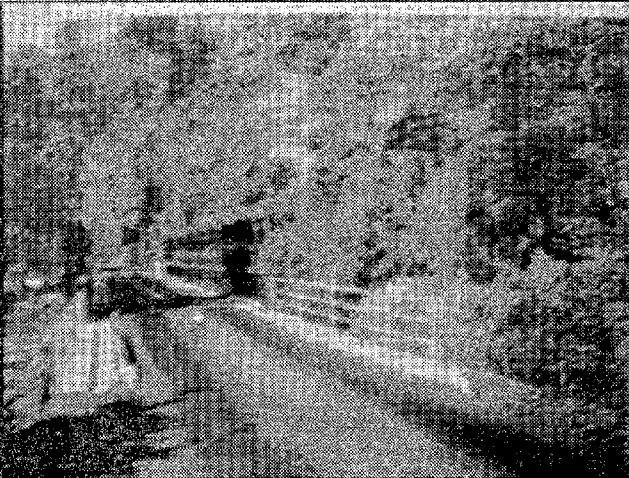
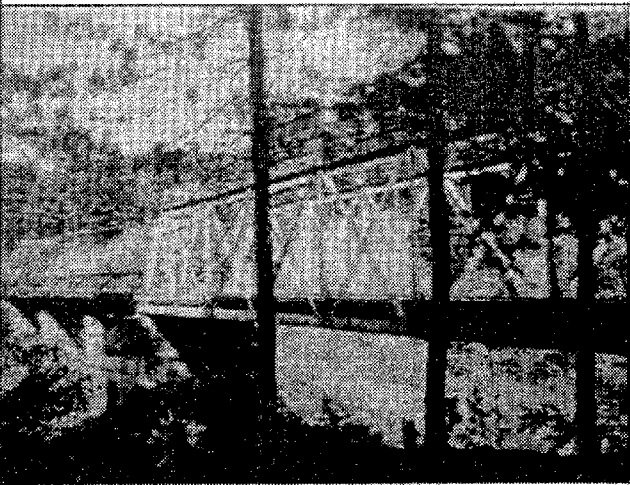
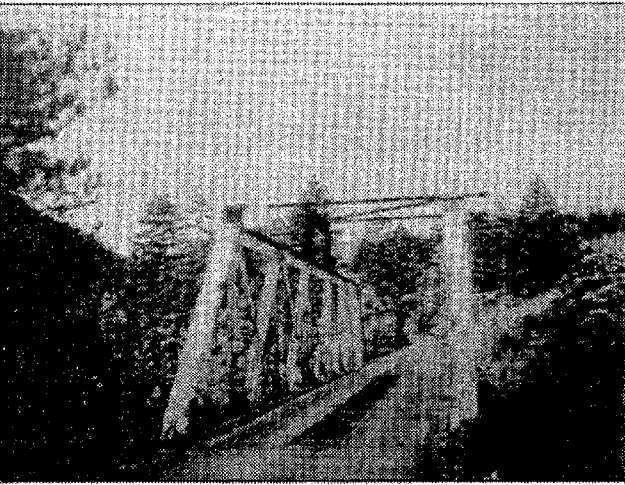
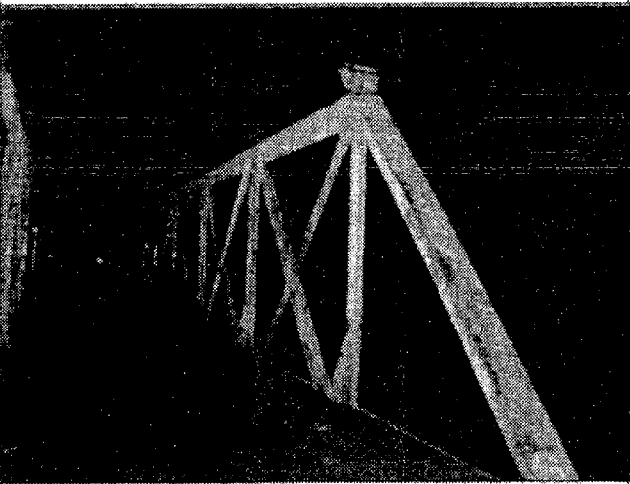
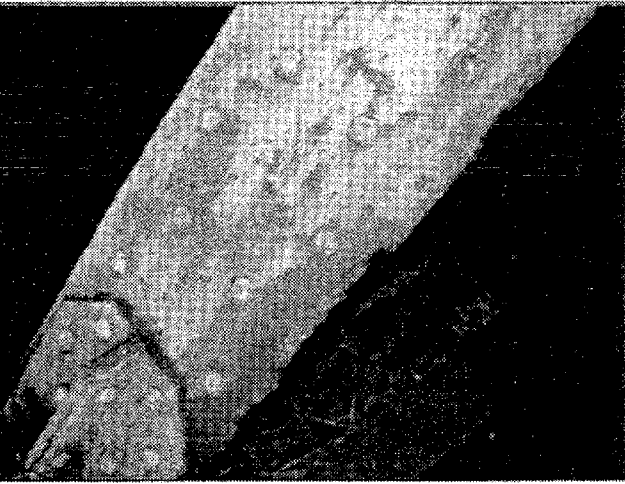
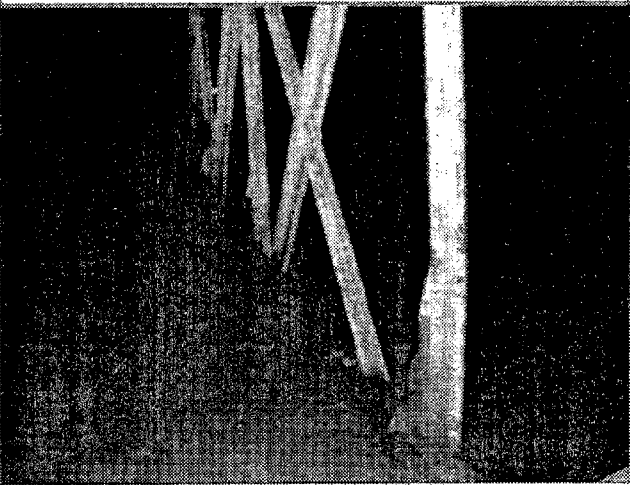
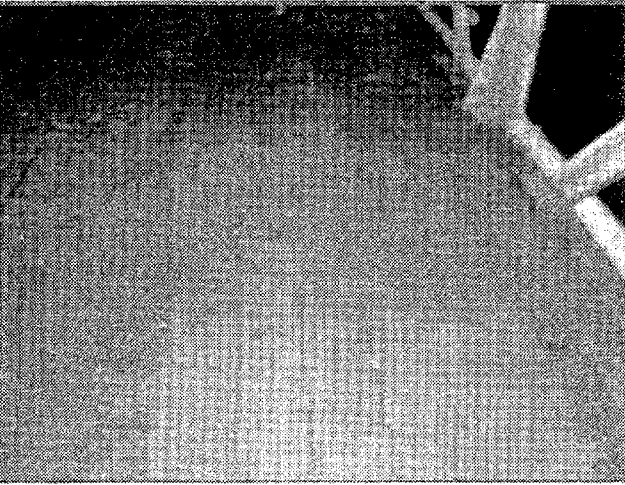


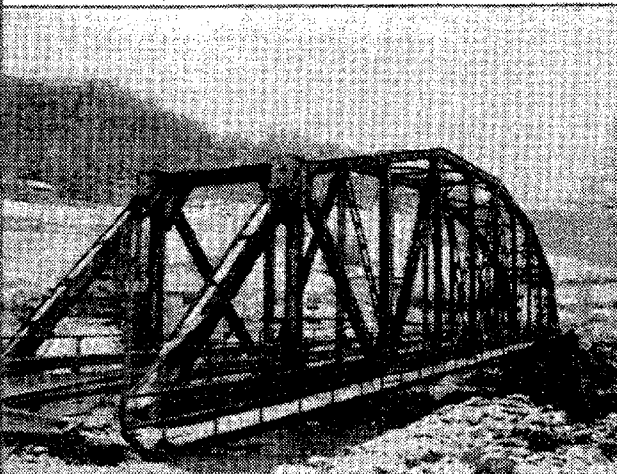
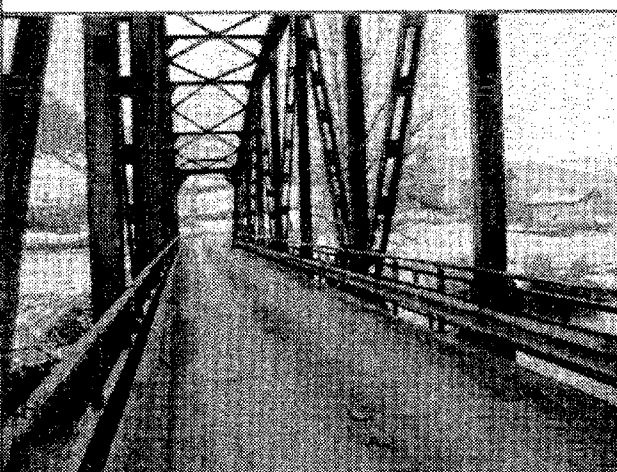
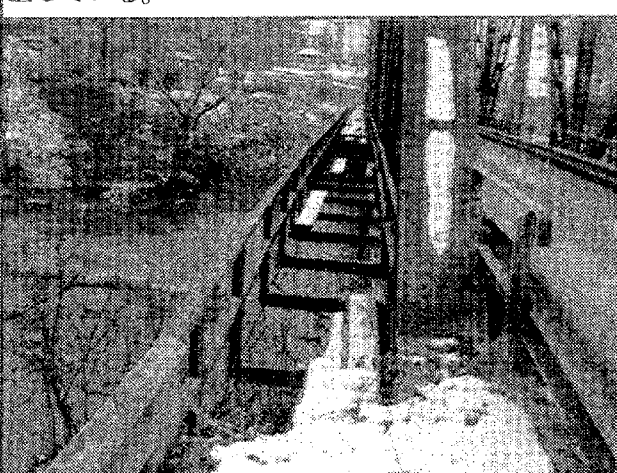
橋梁番号	FD-01	橋梁名	ゴラジュデ橋
			
落橋した第1径間及び第2径間に架けられたベリリー橋		落橋した第1、第2径間。P1橋脚が突き刺さって見える。	
			
落橋している第1径間と第2径間		主桁、床版に大きな損傷がある第4径間	
			
根本に大きな損傷を受けているP4橋脚		P2橋脚とP3橋脚。背面は旧鉄道橋	

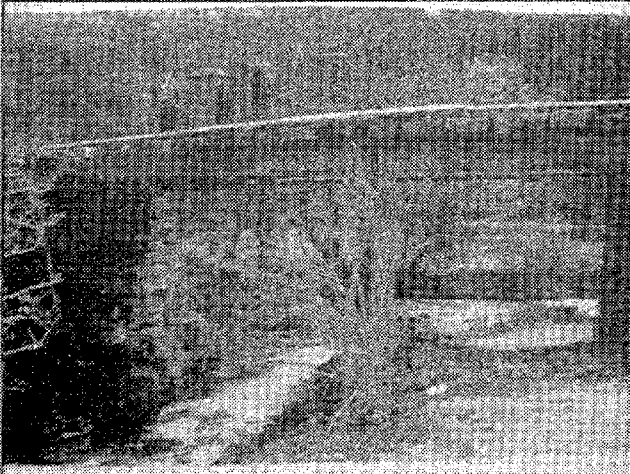
橋梁番号	FD-02	橋梁名	ボガティチ橋
			
損傷の激しい第1径間に架けられたベイリー橋		第1径間損傷部。床版の損傷度が激しい。	
			
A1橋台。縦壁にも損傷がある。		第1径間に架けられたベイリー橋	
			
ベイリー橋の幅が狭いため、交互通行となる。		A1橋台下流側状況。高欄も吹き飛ばされている。	

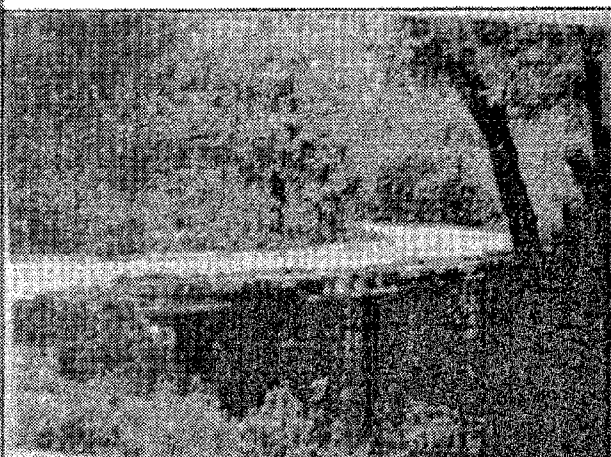
橋梁番号	FD-03	橋梁名	クリバヤ橋
			
鉄道橋を道路橋として使用。			下フランジに錆びが発生している。
			
鉄道橋であるため、車1台が通る幅しかない。			上フランジは防護無しで供用されている
			
橋脚は比較的健全である。			橋台も異常は見られない。

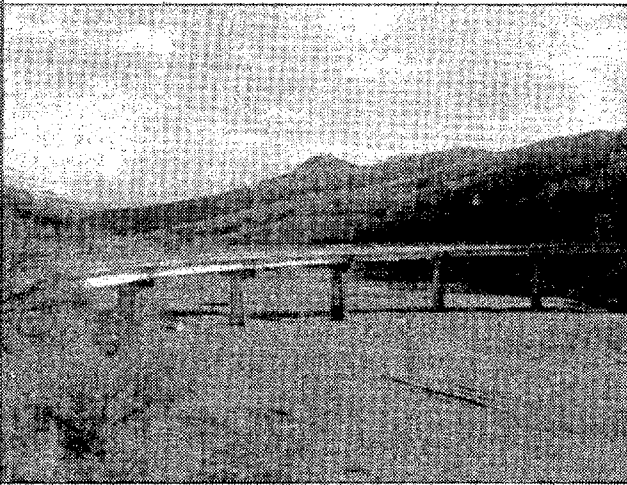
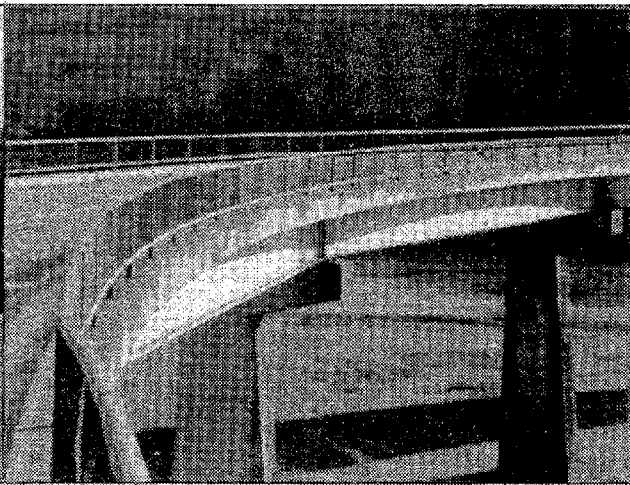
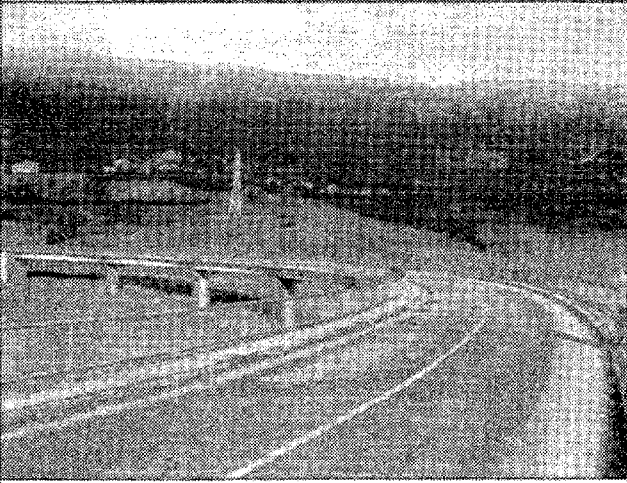
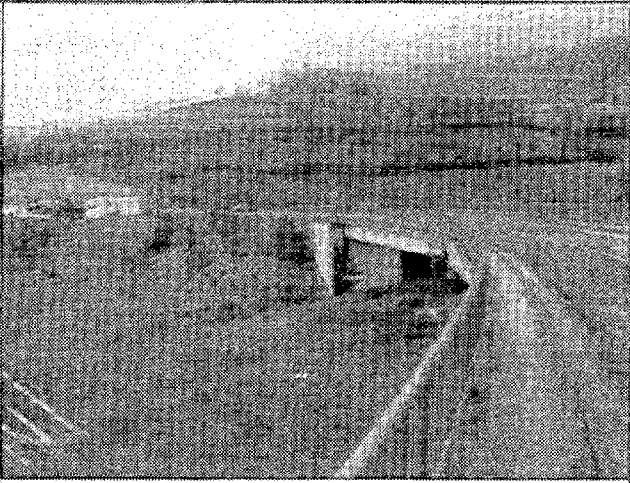
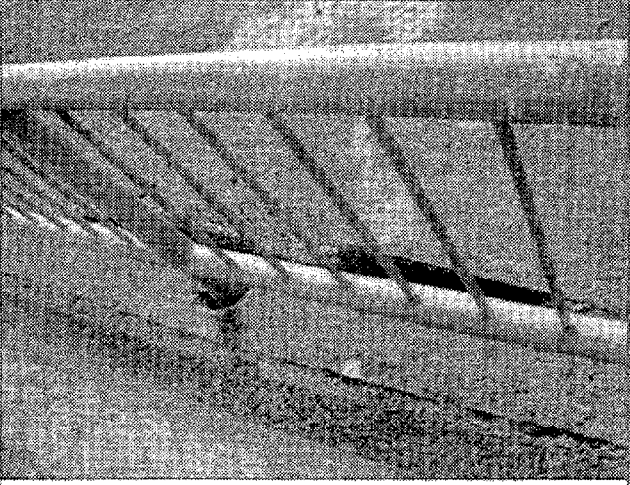
橋梁番号	FD-04	橋梁名	クリバヤ橋
			
中央径間はベイリー橋が架設されているが、錆び等が見られる。		幅員が狭く、交互通行となる。	

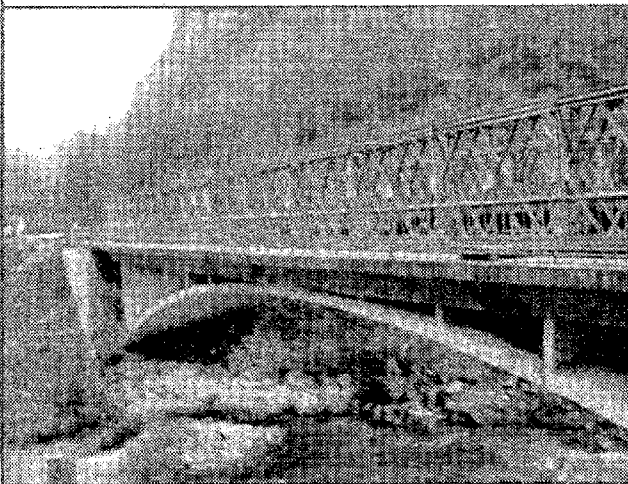
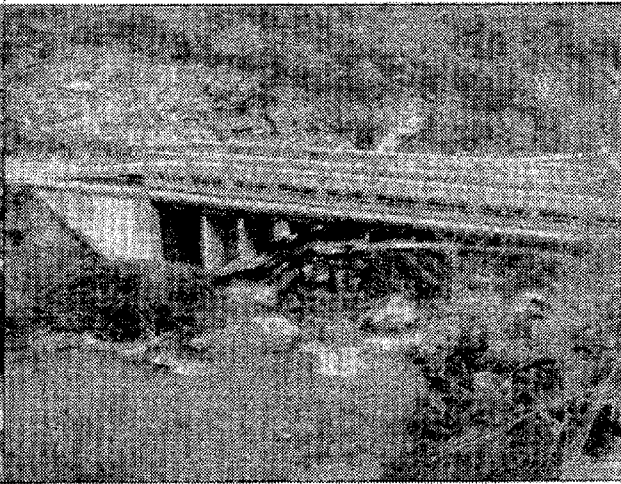
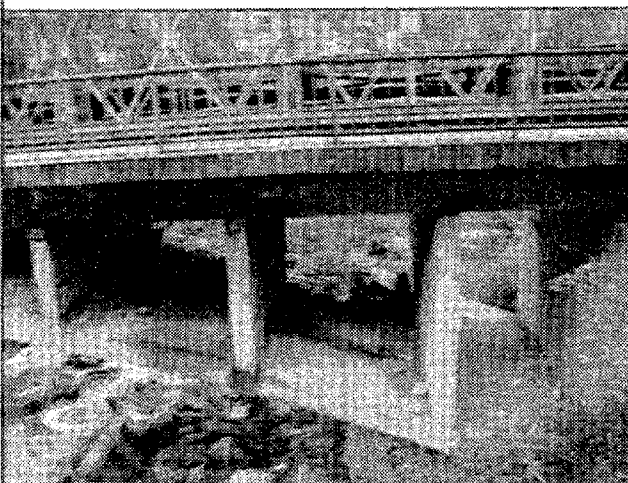
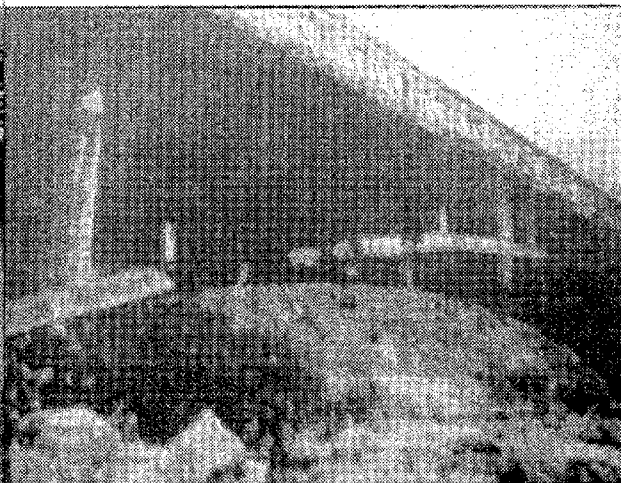
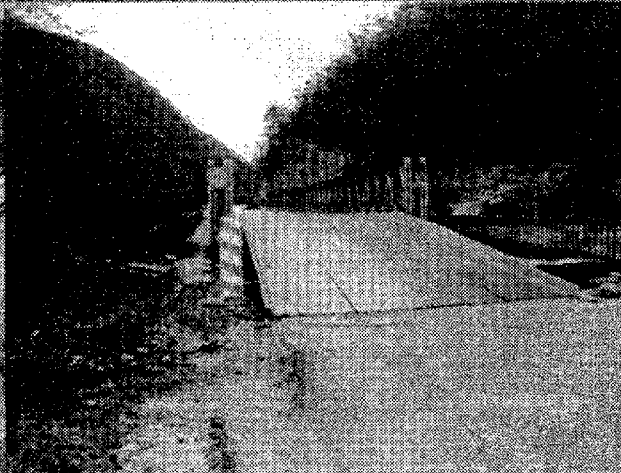
橋梁番号	FD-05	橋梁名	クリバヤ橋
			
主径間はトラス橋で、他の径間は鋼鈑桁橋である。		ポニートラスで、上弦材派は後で補強材にて連結されている。	
			
トラス部材は錆がひどい状況である。		錆が進行し、腐食し断面欠損が見られる。	
			
鉛直材も腐食により断面欠損が見られる。		床組は木製で、所々破損し、穴が開いている。	

橋梁番号	FD-06	橋梁名	ザウイトウィッチ橋
			
橋梁全体に錆が発生している。		本来鉄道橋であり、道路橋としては1車線の幅しかないため、交互通行となる。	
			
アスファルト舗装がなされているが、ひび割れが発生している。		主構造はガードレールで保護されており、損傷は見られない。	
			
鉄道橋時代の典型通路は使用されていない。		錆びてはいるが、腐食による断面欠損はない。	

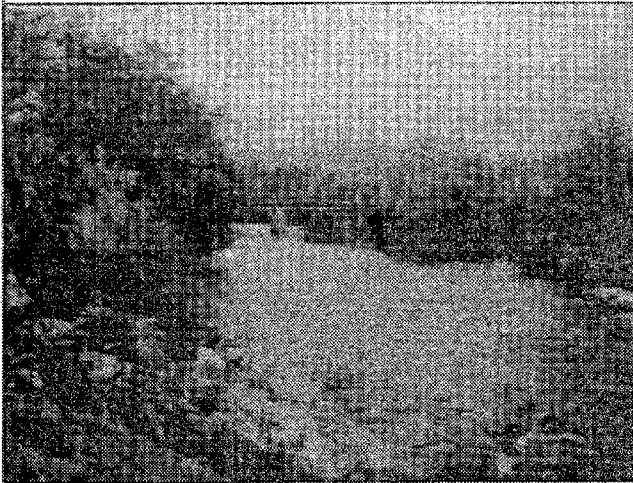
橋梁番号	FD-07	橋梁名	グローブニック橋
			
鋼鈑桁に木製の床組を設置したかなり老朽化した橋である。		橋台も石積み構造で、全面的な架け替えが必要である。	
			
道路の改良も進められており、これに合わせて実施する必要がある。			

橋梁番号	FD-08	橋梁名	ネレツヴァ橋
			
山間部をぬける路線上の橋梁である。		鋼桁は発錆がひどく、一部腐食による断面欠損が見受けられる。	
			
橋台、橋脚とも石積み構造で老朽化している。		鋼鈹桁に木材により床組が造られており、木材の破損が見受けられる。	

橋梁番号	FD-09	橋梁名	ヤケリッチャ橋
		貯水池を渡る鋼単純鉄桁7連の橋梁である。	伸縮装置からの漏水で、橋脚付近で桁の発錆がある。
		路面は輪経ち掘れや、クラックが見られ痛んでいる。	橋台部にも伸縮装置からの漏水がある。
		排水管がないため、排水ますからの水が主桁に当たり、錆を発生させる。	高欄に衝突したため、地覆のカバーコンクリートが破損している。

橋梁番号	FD-10	橋梁名	プロゾール橋
			
単径間のRCアーチ橋である。		橋台付近のアーチ材と垂直材が被弾している。	
			
アーチ材が少し下がったためか、垂直材と補剛材との間に若干の隙間が発生してる。		損傷したアーチ材。	
			
コンクリートが幅の半分近く抜け落ち、鉄筋が露出している。		両橋台部を支点としたベイリー橋が架けられている。	

橋梁番号	FD-11	橋梁名	リチナ橋
			
架橋計画位置付近の状況。		架橋計画位置付近の状況。	
			
架橋計画位置付近の状況。		架橋計画位置付近の状況。	

橋梁番号	FD-12	橋梁名	リシティッチャ橋
			
架橋位置付近の状況。		架橋位置付近の状況。	
